

# モロッコ系ランタンキュラス有望系統の系統特性検定

モロッコ系ランタンキュラス「白1」、「白2」、「パープル1」、「パープル3」、「クリーム」、「茶オレンジ」の全6系統は、十分な切り花本数と切り花形質を有しており、有望な系統です。

## 背景・目的

- ランタンキュラスは、年末から春先にかけて色や花型のバリエーション豊かな品種の出荷が行われており、その中でもモロッコ系は実需者からの需要が高いです。
- そこで、県内育種家と連携し、県先行販売に向けた有望系統の特性調査を行いました。

## 成果の内容

- 今回検定した6系統は、全系統ともに1番花と全期間の切り花形質はともに優れており、十分な収量が確保できます（表1、2）

表1 1番花の開花日、株あたりの切り花本数および切り花形質

品種名	1番花開花日 (月、日)	切り花本数 (本/株)	切り花長 (cm)	茎長 (cm)	茎径 (mm)	切り花重 (g)	側枝数 (本)
白1	12月16日	14.4 ± 0.5 <sup>z</sup>	63.0 ± 0.9	60.3 ± 0.9	5.2 ± 0.2	40.0 ± 3.2	1.9 ± 0.2
白2	1月10日	21.7 ± 0.6	65.0 ± 2.8	64.6 ± 0.5	3.8 ± 0.1	24.7 ± 0.8	1.3 ± 0.0
パープル1	12月17日	16.5 ± 1.2	44.7 ± 1.0	42.6 ± 1.0	4.2 ± 0.1	14.3 ± 1.5	0.5 ± 0.1
パープル3	1月12日	17.6 ± 2.6	53.0 ± 1.5	50.3 ± 1.5	5.5 ± 0.4	27.8 ± 2.0	2.0 ± 0.3
クリーム	1月31日	21.3 ± 2.5	54.2 ± 1.5	51.5 ± 1.7	6.8 ± 0.5	46.9 ± 4.4	1.2 ± 0.1
茶オレンジ	1月6日	21.5 ± 0.7	58.2 ± 1.8	55.6 ± 1.7	4.7 ± 0.1	27.8 ± 1.8	1.5 ± 0.1
ローズクォーツ	1月1日	19.7 ± 1.0	44.6 ± 0.5	41.1 ± 0.6	5.6 ± 0.2	25.8 ± 2.0	0.6 ± 0.1

z:平均±標準誤差 (n=3)

表2 全期間を通じた切り花形質

系統名	切り花長 (cm)	茎径 (mm)	側枝数 (本)
白1	76.2 ± 0.9 <sup>z</sup>	4.0 ± 0.1	1.7 ± 0.1
白2	71.7 ± 1.0	3.0 ± 0.1	1.2 ± 0.0
パープル1	50.7 ± 0.7	4.1 ± 0.1	1.6 ± 0.0
パープル2	53.8 ± 0.3	3.8 ± 0.1	1.0 ± 0.1
パープル3	60.4 ± 0.1	3.9 ± 0.1	1.8 ± 0.1
クリーム	69.8 ± 1.2	4.5 ± 0.2	1.2 ± 0.0
茶オレンジ	69.7 ± 1.2	3.8 ± 0.0	1.4 ± 0.0
ローズクォーツ	61.1 ± 1.2	3.9 ± 0.0	0.2 ± 0.0

z 平均±標準誤差 (n=3)



(写真) : 上段左 クリーム  
上段右 茶オレンジ  
下段左 パープル3  
下段右 白1

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 新たに県先行利用のモロッコを導入する際の基礎データとして活用できます。

- 普及対象地域・戸数 中山間地域のランタンキュラス生産者 5戸

## 留意点

- 1番花開花日は試験場での結果のため、導入地域では気象条件を考慮してください。  
また、品種は市場ニーズを考慮して導入してください。